

新長田南地区 にぎわいづくり意識調査についてのお願い

この度、「株式会社エコクラート・デザイン」は、国道南地区再開発ビルを中心としたエリアにおきまして、地域・商業者の視点から、皆様と共に街全体の再生と活性化を図ることを考えるため、現在の国道南地区の現状の把握・分析し、本来あるべき街の姿を模索することで、今後の進むべき方向性を見出すことに目的を置き、広く皆様に意識調査をさせていただきたいと思っています。

なお、本意識調査についてはアンケート形式で実施させていただきますが、回収の際、ご記載の内容について具体的な話をお聞かせいただく場合もあると思いますが、意識調査と併せまして、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

はじめに

国道南地区は、大正筋商店街を中心に、震災後の新たな街路として完成されつつあります。

震災前、地場産業を基盤に発展してきたこの地域は、独自の食文化を育み、住と職が一体となった、昔ながらのコミュニティーがあった下町で、ここに暮らす人たちはそれが自慢でした。

そして今、震災前とは違う新長田の街ができ、地域・地元住人は様々な思いを持ち、賛否両論が有りつつも、現在の南地区は、その存在が新長田の新しい形として出来つつあります。

交通インフラも整い、都心からも非常に近く、かなり利便性の高い立地に位置するこの地域で有りながら、国道2号北地区に比べ、南地区は来街者が少なく、商業棟や商店主にしても売上が伸び悩み、来街者を呼び込む対策が急務ではないかと考えております。

とは言え、一方で一過性のもので賑やかしや、ハード的な対策だけでは、継続し地元根付く、賑わいや活性化には繋がらないでしょう。

大震災を乗り越え、既に、地域コミュニティーや NPO なども活発に活動されていることから、街の再活性化へのこの地域のポテンシャルは非常に高いものがあり、如何に来街者が回遊する“きっかけ”を作るか、それらを仕掛ける必要があり、それを持ってして街のにぎわいをつくっていけると考えております。

そこで今回意識調査を実施し、頂戴した意見等から課題を抽出することで、どの様な方向性で活性化を、目に見える形で、皆様と共に具現化し、可能性を見出すことで、にぎわいづくりプロジェクトを提案できればと考えております。

株式会社エコクラート・デザイン

電話番号 06-6271-9610

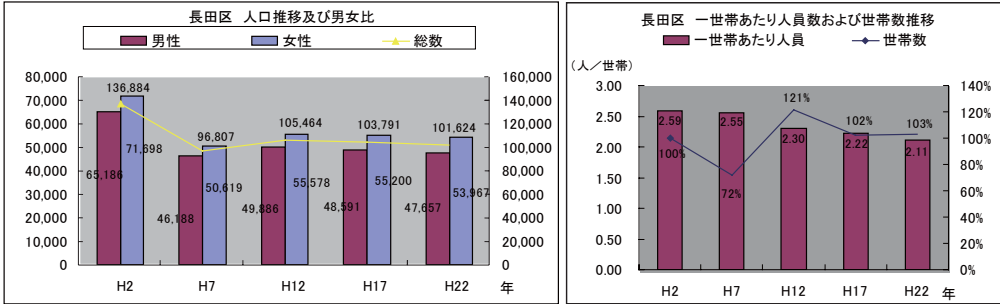
(神戸市都市計画総局・新長田まちづくり株式会社より
業務委託を受け意識調査を行っております。)

「にぎわいづくり」考え方

考え方Ⅰ：対象区域についての人口推移等の現状

1. 人口の推移

総人口の減少と単独世帯の増加



出典：国勢調査（各年、10月1日時点）

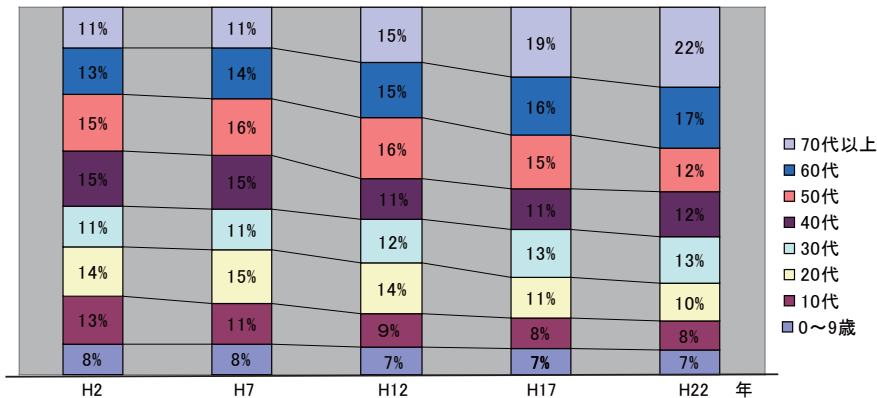
出典：国勢調査（各年、10月1日時点）

➡ 人口増加は22年時点では見られず人口減少傾向にあり、
単独世帯が増えたと思われる

2. 年齢別人口の推移

少子高齢化の進展

長田町の年齢別人口割合の推移



出典：国勢調査（各年、10月1日時点）

➡ 少子高齢化傾向が見られる

3. 結論

「にぎわいづくりには、早急な具体的対策が必要」

考え方Ⅱ：新長田駅前街の声 / インターネット調べ

- ・街の声モニター数 37
- ・インターネット等検索（類似設問反映）

1. Q1. 「新長田ってどんな町か」一言で言うと？

- ①震災からの復興を遂げ、将来性のある町 約 30%
- ②昔は下町だったが、今は活気がない 約 25%
- ③美味しいものが多い町 約 20%
- ④昔ながらの下町、人情味溢れる町 約 10%
- ⑤一言で言うのは難しい（コレというものがない） 約 10%

2. Q2. 新長田の自慢できる場所は？

- ①生活しやすい、住みやすい 約 40%
- ②震災からの復興力 約 30%
- ③美味しいものが多い 約 20%
- ④人情味あつい 約 10%

3. Q3. 新長田に足りないものは？

- ①活気 約 35%
- ②マナー 約 25%
- ③自然 約 20%
- ④下町らしさ 約 20%

4. 考え方Ⅱでの結論

昔を懐かしむ意見が多く、コミュニティーや賑わい・活気のある下町が自慢であった方々が多く見受けられ、新しく整備されたことはマイナスではなく、これらの良さをフルに活かしつつ、新しい街での地域コミュニティーの復活がポイントとも言えます。
つまりは、

「地域住民の皆様と共に、新長田の昔の良さを融合した新しい文化の創造が必要」

■ 「新長田にぎわいづくりプロジェクト」として、再生と活性化を考えます

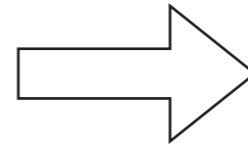
南地区2号線以南 再生と活性化へのコンセプト

新長田にぎわいづくりPJ

地元根付いた文化の伝承と新たな価値感との融合

街の進むべき方向性

地域・地元住人のためのコミュニティータウンの再生と
新たな観光拠点とした街づくりによる賑わいの創造・創出



〈地域の資源と課題〉

昔ながらの長田の再生

- 例) ● 自慢の長田
- ノスタルジックな建物、古き良き街並み・街角（昭和の街並み）
- 長田オリジナル・コンテンツ
- 地域食文化の集積地 発信
- 鉄板焼き粉もの聖地

など

街のコミュニティー

- 例) ● 昔ながら流れる地域性・つどい・ふれあい
- コミュニティーゾーンの点在
- 遊びを散りばめる
- 寄り道をした・井戸端会議が日常
- 地元を大切に

など

長田の新たな文化の創造

- 例) ● 他にない長田オリジナル
- サブカルチャーとアートが街と融合する
- 街のシンボル・ランドマーク・コミュニティーツール
- 地域にとってのアスタクにつかの位置づけと活性化へのきっかけ

など

安全で住みよい街へ

- 例) ● 交通規制尚商店街のルールを再検証
- 街のゾーニングの検証
- ユニバーサルデザインのメカとなる
- 町の緑化 部分的緑化
- エネルギー効率の検証

など

さらなる豊かな暮らしへ

- 例) ● 高齢者にやさしい福祉のまち
- 地域医療との連携、ホスピタリティ豊かなまちへ
- 子育てにやさしいまち

など

以上のように、新長田に根付いて来た新長田本来の古き良きものは十分に保存・再生しつつ、新しい価値観を導入し挑戦しようと言うテーマを設定し、皆様のご意見を頂き、皆様と一緒に将来のビジョンを構築したいと考えております。

また、現況での改善点を見出し、より地域活性を促すようなご意見も頂戴したく存じ上げます。

是非、この機会に皆様のご意見をお聞かせ下さいませ。

国道南地区「にぎわいづくり」についての意識調査

この度、国道南地区再開発ビルを中心としたエリアにおきまして、皆様と共に街全体の再生と活性化を図る事を考えるため、にぎわいづくりプロジェクトを提案したいと思います。そのため、皆様の率直なご意見を頂戴したく、簡単な意識調査をお願いしておりますのでご協力の程お願い申し上げます。

| 棟名 | 記載日 | 月 | 日 |
|----|-----|---|---|
|----|-----|---|---|

※差し支えなければ下記もご記入お願いいたします。

| 氏名 | 区画 |
|----|----|
|----|----|

■ 商業エリア(各店舗)について

【質問 1】 現状をどのようにお考えですか？

- ① 満足している ② なにも思わない ③ 満足していない

【質問 2】 「質問 1」で①(満足している)または③(満足していない)と回答された方に伺います。
どのような部分に満足または満足していないと感じられておられますか？

【質問 3】 地域の「自慢」を教えてください。

例) 人情あふれる街、長田発祥の食べ物がある等

【質問 4】 企画したい又は企画して欲しいイベント等はございますか？

【質問 5】 現在のゾーニング(テナント配置)についてどのように感じておられますか？

- ① 満足している ② なにも思わない ③ 満足していない

【質問 6】 「質問 5」で①(満足している)または③(満足していない)と回答された方に伺います。
どのような部分に満足または満足していないと感じられておられますか？

【質問 7】 各店舗の状況についてお伺いいたします。客数・売上は予定通りに進捗していますか？

- ① 予想を超えた売上を維持している。 ② 予想通りである。 ③ 予想を下回っている。

【質問 8】 「質問 7」で①(上回っている)または③(下回っている)と回答された方に伺います。
どのような部分が理由だと考えられておられますか？

【質問 9】 売上を伸ばすために何か必要な事はございますか？

【質問10】 今後の事業継続について後継者様はいらっしゃいますか？

- ① いる ② いない ③ わからない

【質問11】 「質問10」で②と回答された方に伺います。今後の方針としてどのようにお考えですか？

例) 賃貸等

【質問12】 にぎわいづくりのため商業棟に「こんな仕組み・テナント等があったらいい」というものはありますか？

① 組織(ルール)について

例) 店舗間連絡について等

② 仕組みについて

例) ホームページ(通販システム)の開設、ビジョン活用方法等

③ テナント(空区画)活用について

例) 空区画に入居して欲しい業種等

④ その他(広場・緑化スペース等)

例) 広場・緑化スペースの確保

【質問13】 「にぎわいづくり」にご協力していただける内容はございますか？

■ その他

【質問14】 今回の「にぎわいづくり」に関するご意見等ございましたらお聞かせください。

※当該意識調査は今回の活性化の為に参考資料としての目的以外で利用し、又は第三者に提供することはありません。
ご協力ありがとうございました。